

岡山牛の声価上る 第18回中国連合畜産共進会

神戸市で盛大に開催

第18回中国連合畜産共進会はさる10月19日から23日までの5日間、神戸市兵庫区吉田町の神戸競輪場跡で開催された。

この共進会は兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口の6県がお互の畜産発展をはかるため、4年目毎に順次持ち回りで開いているもので、明治36年島根県で第1回が開かれて以来、50余年の歴史を有している。今回は兵庫県の主催のもとに参加6県から選り抜きの和牛80頭、乳牛33頭、肉牛40頭、めん羊18頭、山羊26頭、豚30頭計327頭が出品された。

岡山県からの出品はつぎのとおり各部門合わせて32頭で、出品点数は多くなかったが終始よく健闘し、第1部（和牛）第2部（乳牛）第5部（山羊）の部で1等賞に入賞し万丈の気を吐いた。ことに和牛では1等賞入賞16点のうち8点の入賞牛を出し、圧倒的な優位を獲得した。

会場は旧競輪場のスタンドや事務所などの施設を生かして、準備され、折からの神戸みなと祭り期間中でもあり、中国各県や、地元からの参観者でにぎわったが、あいにく再々の雨は出品関係者を悩ませた。

共進会第1日の19日には、9時30分から各県出品関係者がメエスタンド前に整列して開会式が行なわれたあと、第1部和牛種種牛（黒毛和種、無角和種）、第2部乳用種種牛（ホルスタイン種および同種系牛）、第3部肉牛（黒毛、無角和種）第4部種めん羊、第5部種山羊、第6部種豚の各別別にそれぞれ場内フィールドの審査場で総体審査が開始された。審査は関係者の見守るうちに、年令、性別によって分けられた各区毎にくり返し夕方まで慎重に続けられた。肉牛部門では午後4時頃までに枝肉審査予定の上位入賞が決められ注目を集めた。

20日午前中比較審査が行なわれ、午後には上位入賞家畜を決定してブルーリボンの装着があり多数の参観者からの拍手をあびた。岡山県からの出品の第2部（ホルスタイン種系経産）の小玉氏の乳牛、第5部の神原岸太郎氏の山羊も上位に並びリボンを受け関係者をよろこばせた。

このあと審査員からの家畜について展示説明が行なわれた。

一方神戸と畜場では、昨日決定した去勢肉牛上位

入賞の3頭が解体、枝肉審査、展示が行なわれた。

21日には最も出品数の多かった和牛の最終審査に続いて、上位入賞

牛に審査員の手によってブルーリボンの装着が行なわれた。本県出品牛は数多くこれに選ばれ、長年の努力がここに実り栄誉かがやく感激のシーンを展開した。また正午から中国地区各大学の審査競技会が開かれた。

22日は午前、上位入賞和牛の展示説明に続いて会場正面の大テントで、中国和牛協会、中国6県の各畜産会主催の中国地方畜産大会が開催された。これには中野農林政務次官、坂本兵庫県知事ほかの来賓が出席、各県畜産連合会長から畜産振興の提案・協議が行なわれたが、岡山県からは三宅県総合畜産連合会長が「畜産物の価格安定対策と家畜及び畜産物取引改善施策実現」について説明し、それぞれ提案事項を決議し、中央に対して陳情などによって強力にはたらきかけることになった。

この頃から天気は次第によくなり午後はスタンド前に設けられたセリ場で出品肉牛37頭のセリ売りが行なわれ、最高37万円（兵庫県産）の祝儀相場も出てにぎわった。本県から出場の倉敷市守屋竜衛氏の「302号牛」は263,000円で惜しくも本人取りとなった。

またセリが終ると地元神戸市の舞踊会に人々がよって郷土舞踊の披露があり色彩をそえた。

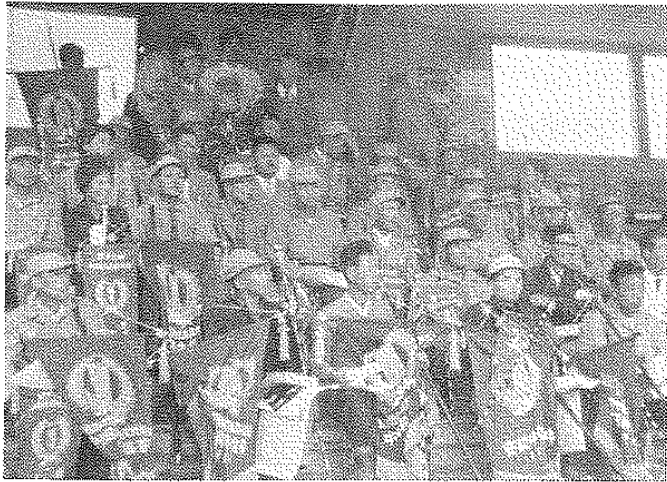
最終日の23日は夜中の大雨も上がり、場内正面の大テント内で午前11時から褒賞授与式が行なわれた。

式場正面のスタンドには神戸市消防局ブラスバンドが陣取り予定時間前から行進曲を吹奏し気分を盛り上げ、式場には折から神戸みなと祭りに選ばれたミス神戸、花野プリンセスのポルトガル、インドなど国際色豊かな令嬢6人が到着し、厳しゆくのうちにも華やかな空気があふれた。

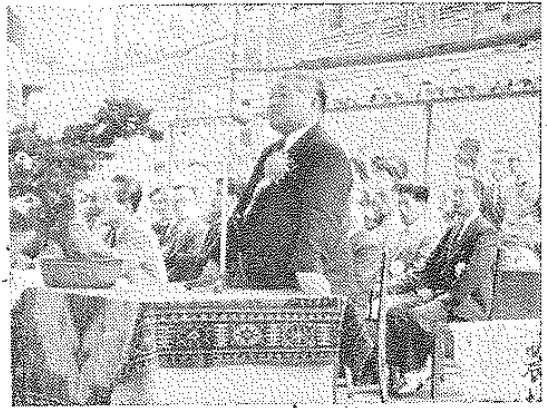
計	第六部 種豚	第五部 種山羊	第四部 種めん羊	第三部 肉牛	第二部 乳用種種牛	第一部 和種種牛	
一三二	三	四	一	一	五	八	雌
一〇	〇	〇	〇	五	〇	五	雄
三三二	三	四	一	六	五	一三	計

岡山県出品家畜

共進会場から



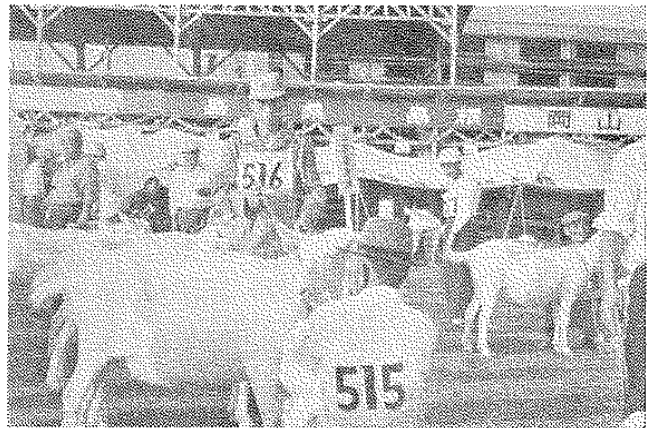
入賞による喜びの人々



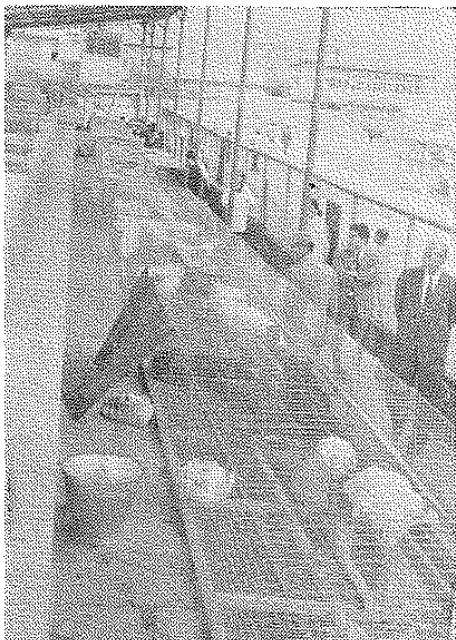
「次回は岡山で……」褒賞授与式で挨拶する三木岡山県知事



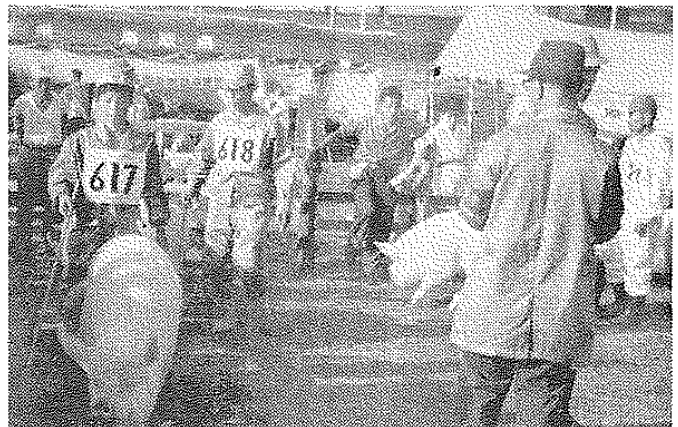
知事さんと共に



健闘する岡山勢（山羊の部）



鶏展示には本県からも新らしい肉用鶏が出品された



種豚の部でも奮闘（617号 英田郡の松本さん）

この共進会のあゆみと目的

菊花薫る秋、中国6県の参加を得てここに第18回中国連合畜産共進会の開催をみるに至りました。

顧みますに、この共進会はその第1回を明治33年秋島根県の三瓶山麓に開催し、爾来回を重ねること18回、その間中国各県をめぐりて本県は三たび30年目の開催であります。

畜産の発達、家畜の改良を根幹とし、家畜の改良事業は科学に立脚した不断の努力の集積によって始めて達せられるものであります。

この努力の結晶を一場に集めて比較審査し充劣をきめて、さらに改良を促進することが、共進会の目的であります。今回はこの共進会の場を通じて広く社会に畜産をアピールすべく試みた次第であります。

私達は、この共進会が、所期の目的を効果的に果たすことができるよう衷心より希うものであります。……(出品目録より)

式はまず共進会長の坂本兵庫県知事挨拶にはじまり、荻野審査員長(農林省鳥取種畜場長)の各家畜別の審査概要や今後の改善点について報告があった。

ついで褒章授与にうつり、各部門毎に上位入賞者を前列に各県受賞者が整列し、プラスバンドの栄光の曲を演奏するうちに農林大臣、はじめ各関係団体からの賞状、賞品、優勝カップがミス神戸ほかから順序よく贈られた。

また畜産功労者として各県の畜産発展に力を尽した24名に畜産局長共進会長からそれぞれ表彰が行なわれ、本県からはつぎの諸氏が表彰を受けた。

農林省畜産局長表彰 上道郡上道町 奥山吉備男
第18回中国連合畜産共進会長表彰

岡山市福富町 山上幹一
勝田郡北町 流郷章雄
真庭郡美甘村 川西達太郎

さらに来賓祝辞として三木岡山市知事がこの共進会の成果と次回の岡山開催について歓迎のことばを述べ、いよいよ閉会の時期が近づき、最後に各県関係者こもごもの感慨のうちに、万歳を三唱し、4年先の再回を約して会を終った。

◎第19回共進会は岡山大

いよいよ次回の開催県は岡山ときまった。今回の神戸での共進会の開催準備、運営などいろいろな面から、われわれはその体験を生かして、より充実した岡山大会を4年先の昭和40年に計画しなければならない。

同時に今回の共進会ではかなりの成績を収めるこ

とができたがこれに酔うことなく、またさらに改善を要する中家畜部門、ことに豚の改良には一層の努力を注ぐこと、この成果を実際の経営面で生かしより高い生産能率をあげる方向に向かわなければならない。一など明日からの精進によって、開催県として次回もはずかしくない成績を収めたいものである。

種目	等級	鳥取	島根	岡山	広島	山口	兵庫	計
和牛	一	1	1	8	2	2	2	16
	二	5	6	1	4	3	5	24
	三	7	6	4	7	8	8	40
	計	13	13	13	13	13	15	80
乳牛	一	…	1	1	3	…	2	7
	二	1	1	1	1	…	6	10
	三	4	2	3	1	4	2	16
	計	5	4	5	5	4	10	33
肉牛	一	…	…	…	…	2	6	8
	二	…	…	2	1	4	5	12
	三	3	3	4	4	4	2	20
	計	3	3	6	5	10	13	40
めん羊	一	…	2	…	2	…	…	4
	二	…	1	…	3	…	…	4
	三	2	1	1	1	…	4	9
	計	2	4	1	6	…	4	17
山羊	一	…	1	1	3	…	…	5
	二	…	4	…	3	…	1	8
	三	1	…	3	…	5	4	13
	計	1	5	4	6	5	5	26
豚	一	3	3	…	…	…	…	6
	二	2	2	…	2	2	1	9
	三	1	…	3	3	1	7	15
	計	6	5	3	5	3	8	30

入賞状況

本県の入賞成績は和牛は1等賞は16点のうち8点で、出品16頭の6割を占める好成績で圧勝、乳牛もホルスタイン種系牛から1位に入ったが、酪農県を自負するにしてはさらに一段の奮起が必要。肉牛は予想に反し2等賞へ2点入ったに止まった。めん羊は振るわなかったが、山羊は出品4点のうち1点が1等入賞、中家畜の部でひとり気を吐いた。豚は今までの遅れがたたり今一步で全頭3等に落ちた。

なお各県別の入賞状況は次のとおりであった。

岡山県出品家畜の入賞状況

和種種牛

等級出品番号	名	号	生年月日	産地	住所	出品人
一三三一	き	み二	畜・五・六	真庭	真庭・落合	長尾 美佐夫
一五五六	千	難	畜・二・七	新見	新見・高尾	土井 幾造
一一一六	む	さつ	畜・三・三	真庭	総社・三須	新谷 依男
一一一五	あ	まつ	畜・三・八	上房	上房・北房	南 勲
一〇四	し	げ	畜・五・七	〃	〃	黒岩 忠治郎
一二二五	み	はな	畜・八・三	新見	阿哲・大佐	新木 義男
一六九	第	一	畜・六・五	阿哲	新見・熊谷	宮原 稔
一四二	わ	だ	畜・二・一	上房	御津・加茂川	小出 金作
一三八	第	三	畜・二・一	阿哲	阿哲・哲西	川原 善次郎
一四四	第	二	畜・六・八	〃	阿哲・神郷	大塚 淳一
一四八	強	昭	畜・五・六	真庭	吉備・足守	榎菅 武尚
一六三	中	昭	畜・六・二	新見	吉田・加茂	加茂 家畜 保健所運協

乳用種牛

一	オ	ム	三・三・六	小田	小田・美星	小玉 久
二	ロ	イ	畜・九・三	真庭	真庭・落合	渡辺 定義
三	コ	イ	畜・九・三	西大寺	邑久・邑久	太田 静男
三	リ	ス	畜・一〇・三	〃	西大寺・邑久郷	原 勲
三	ヴ	エ	畜・一〇・三	真庭	真庭・落合	尾崎 元宣

肉牛

二	わ	か	畜・一・二	真庭	倉敷・三田	守屋 竜衛
二	仁	ぼ	畜・三・四	苦田	〃・羽島	亀山 幸太郎
三	第	目	畜・七・一	川上	川上・備中	天野 万平
三	山	本	畜・五・三	真庭	倉敷・三田	山地 輝男
三	大	福	畜・四・三	〃	和氣・和氣	向井 静衛
三	繁	〃	畜・四・一	苦田	赤磐・赤坂	川淵 一彦

種めん羊

三	仔	〃	畜・三・三	笠岡	笠岡・浜田	安福 俊一
---	---	---	-------	----	-------	-------

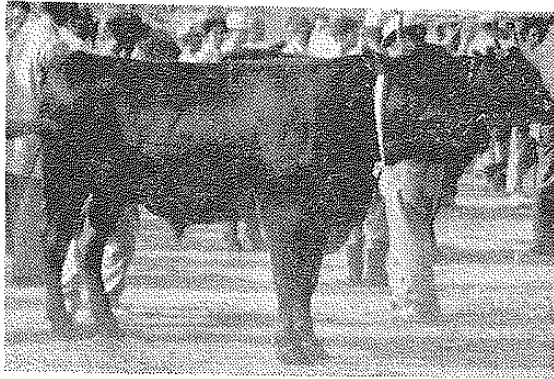
種山羊

一	こ	〃	畜・四・一	総社	総社・阿曾	神原 岸太郎
三	ひ	や	畜・二・三	〃	〃・真壁	土屋 碩夫
三	ま	さ	畜・三・四	〃	〃・三須	小池 克己
三	こ	〃	畜・七・一	〃	〃・阿曾	神原 岸太郎

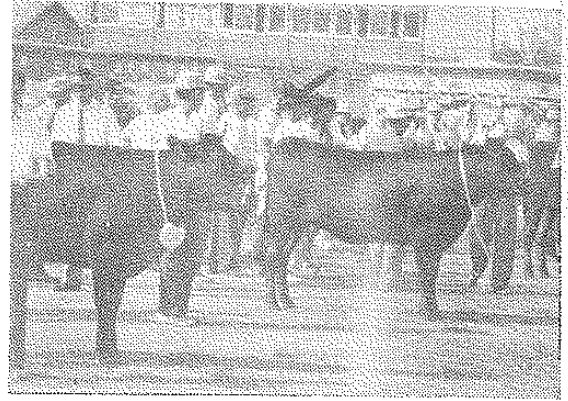
種豚

三	ア	〃	畜・九・三	英田	英田・美作	松本 多穂
三	オ	〃	畜・二・五	新見	真庭・落合	宮川 清輝
三	カ	〃	畜・二・三	赤磐	赤磐・山陽	石原 徳夫

和 牛 の 部

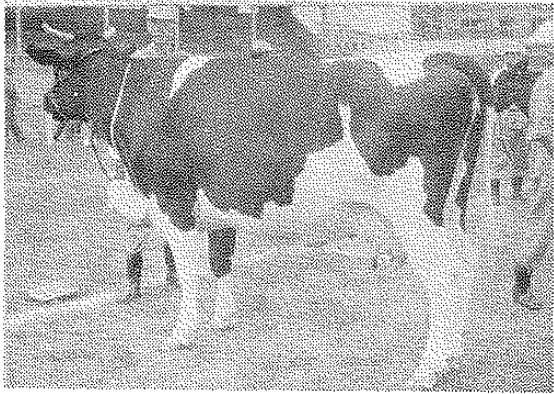


牡 1等賞 畜産局長賞
千 難 号
新見市高尾 土 居 幾 造

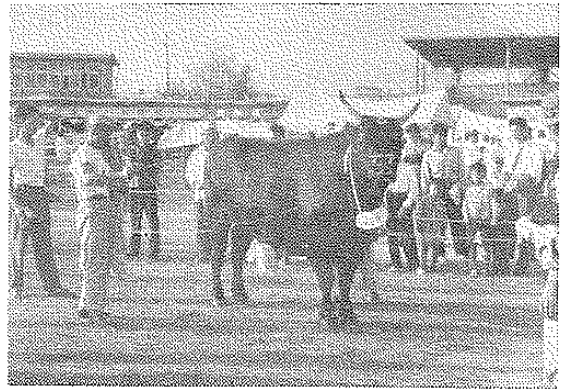


牝 1等賞 農林大臣賞
き み 二 号
真庭郡 長尾美佐夫

乳 牛 の 部



牝 1等賞 農林大臣賞
オダカルデア エムパイア
(種系経産)
小田郡 小 玉 久

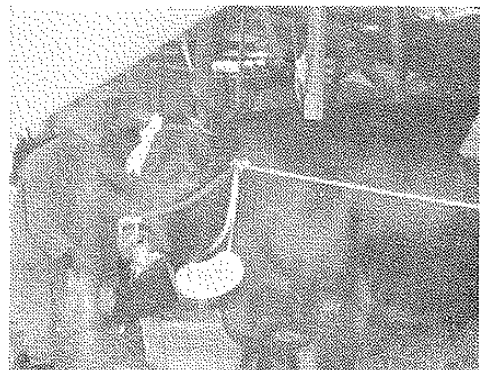


牡 1等賞 畜産局長賞
第一大町号
新見市 宮 原 稔

肉 牛 の 部



畜産功労者の表彰



牝 2等賞 中国連合畜産共進会長賞

審査報告 (抜すい)

第1部 和種種牛

黒毛和種の2才、3才の雄牛は実によく揃い、とくに発育、中軀の良好なのが目立ちました。ただし後軀と前軀とにはまだ改善の余地があります。それにしても雄の育成の行ないにくい昨今、総数25点も出品され、しかもこれがかなりよく斉一している点、流石は和牛生産の本場としての、その面目躍如たるものがあり、同慶にたえません。

2才、3才の雌牛もまたいずれもよく揃い、体型、資質とも大きな難点がなく、とくに前回みられた後軀の傾斜の甚だしいものが少なくなりました点は、進歩の目立った点と思われまふ。ただし共通的に下腿の幅と後軀の深みに乏しく、これは今後の和牛として大いに改良すべき点でありまふ。

黒毛和種の高等登録の出品は、本共進会としては、今回が初めてであります。雌雄ともその種牛的価値を十分に発揮している名牛の出品でありましたが、その出品点数がやや少なかったのは惜しい点でありました。

つぎに各審査区分の概況と、とくに優位の牛について短評を試みてみます。

黒毛和種 2才 雄

出品頭数は18点でありまして、全牛よく揃い、育成技術水準の向上が認められました。すなわち、背腰肋腹のすぐれたものが多かったのですが、後軀の形状、すなわち、尻の長さ、傾斜や腿の形状に難点を見受けられるものがありました。なお、資質の向上には今一段の努力を希望します。

156号牛は(千難号)は体の緊り、体上線、資質、何れも良好でしたが、長脚で、胸、下脰部、飛節などにやや不満がありました。

黒毛和種 2才 雌

出品頭数20点でありまして、すべて発育よく、体各部の均合い、皮膚被毛、骨味、骨緊りなどには殆んど難がなく、とくに肋腹、背脚の立派な優良な牛が目立ちましたが、後軀、下脰部に難のあるものや、

体上線の緩い牛も見受けられました。

116号牛(むさつ号)は体よく緊実し、各部の均合いと移行もよく、体上線の平直な、品のある牛で、皮膚、乳徴もまた良好でありましたが、肘後と右の腰角とに僅かに難点が見られました。

115号牛(あまつ第1ますみ号)はよく緊実し、体上線平直で側望の均合いのよい牛でありましたが、胸幅、臍の位置、坐骨端、下腿の幅、歩様などに不満の点がみうけられました。

黒毛和種 3才 雌

出品数20点でありまして、前回に比し、優良牛が比較的多く出品されました。一般に発育がよく体幅にとみ、資質にも向上の跡がみられました、腰角、肩先、下腿などに難のあるものがかなりありました。

131号(きみ2号)は、均称よく、体積にとみ、体各部の移行なめらかで、肋張りがとくによく、また後軀の状態もよろしいが、いま一息の体のしまりが望まれます。

125号牛(みやはな1号)は、資質よく、背線平直で下脰部よく充実し、体の均合いもよろしいが、臀と歩様とに難があります。

高等登録 雄

169号(第1大町号)は体積にとみ、実に堂々たる雄で、資質もほぼ良好でしたが、骨太く余りに過大の感があり、登り背で体上線に難がありました。

高等登録 雌

142号牛(わだ3号)は、体上線平直で、体深にとみ、体積も十分で、資質も概してよく、品位にとむ牛であります。肩端、腹部のしまりに難がありません。

第2部 乳用種種牛

今回の出品は、ホルスタイン種28頭、同種系牛5頭であります。審査は、ホルスタイン種未経産牛及び経産牛並びに同種系牛の3つに区分して行ないました。

総体的にこれをみますと、今回の出品は前回に比べて体型資質ともに格段の向上を示し、特に体積に

岡山畜産便り 1961. 11・12

富むものが多くみられました。

ホルスタイン種未経牛は、概ね発育良好であり、各部の均合いも良好でありましたが、四肢並びに乳器特に乳頭の配置、大きさ、方向等については、なお一段の改良を要するものと思われま。

ホルスタイン種経産牛は、少数の出品でありましたが、何れも秀れており、ホルスタイン種の出品牛に比べて何等遜色なく、全国的にみても高い水準にあるものとみられます。

233 (オダカルデア号) 号牛は、品質に富み、資質良好で、体各部の均合い良く、伸び深みともに充実で体積に富み、乳用牛の特質を良く現わし、まことに優美な姿を示しています。また乳房の質、附着、形状も良好であります。しかしながら四肢がやや弱く、乳頭の方向に少し難があります。

これを要するに今後は資質や乳器の形状の改良については、種雄牛の後代調査を進め、その成績によって種雄牛の改良上の特徴を把握して交配を行ない、また四肢の軟弱なものについては、飼養管理の改善により一層優秀な乳牛を造成されて、酪農の基盤に資されますよう切望します。

第3部 肉 牛

肉牛の出品は雌 20、去勢 20、計 40 頭でありました。これは全部、各自県産でありまして去勢については、これを更に 2 才と 3 才とに区別して審査しました。

出品を総覧しますに、まず雌については、大きさや肥育度がかなり揃ってしまして、前回のように、過大のものがなく、体重の平均は 593.7 キロ、体高の平均 126.7 センチで、本邦の肉牛として実に手頃の牛が揃っていました。体型の点では概して背幅に富み、皮膚宜しく、中軀のよいものが多かったのですが、後軀に難があったり、被毛に不満があるものが見受けられました。

去勢牛の出品は、前回に比較して非常な進歩を来していました。すなわち、一様に肥育度が進み、背幅が広くなり、大きさが概して揃ってき、肢長のもものが少なくなったことが目につきました。しかし、後軀とくに臍の幅の不足したものや腿の形状に難のあるものが散見されました。大きさを 2 才と 3 才と

に分けて平均で示せば次の通りであります。

なお、若令肥育が全国的にさかんになってきた現在、2 才の去勢の出品頭数が僅かに 4 頭であったの

	体 重 (キロ)	体 高 (センチ)
2 才	556.3	129.4
3 才	594.7	133.1
平 均	567.0	132.3

はいささか淋しい感じがありました。今後はもっと多くの若令肥育牛を出品していただきたいと思いません。

つぎに、3 才去勢牛の屠殺成績では、枝肉歩留はいずれも 64% であって、枝肉の外観はおおむねよろしく、肉質もほぼ良好で、脂肪の附着状態も滑らかでしたが、脂肪色のやや黄色のものがありました。

なお、今回の上位入賞は、兵庫県が圧倒的に多くて、山口県がこれにつぎましたが、他の 4 県の成績が芳しくなかったことは遺憾でありまして、今少し御奮発を願いたいと存じます。(個体短評略)

最後に、近年における著しい食肉の需要増大に伴なって、食肉の増産は国家的な要請となっておりますが、近ごろとくに牛肉の供給増強の必要性がたかまっていますので、経済的によい肉牛を作るとともに、とくに去勢牛などに年令のなるべく若い牛を充分に肥育するように御精進願いたいものと思います。

第4部 種 山 羊

各県共に全般的に発育が良く、体積が概ね斉一となり、品位に富み、皮膚が薄く、乳器の型質が一段と向上して、乳用家畜としての資質改良のあと著しいものが見受けられ、特に広島県及び島根県出品のものは何れも体型資質が良好でありましたが、といて特に傑出したものはありませんでした。

体の各部について共通の美点としては、肋の張りが一般によく、腹部が豊裕となり、乳房が大きく且つ質が良くなって来たこと、並びに今まで兎角なおざり勝ちであった肢蹄が強くなって来たことが挙げられますが、一方肩付がゆるく、背線がたるんで平らでないもの、尻の傾斜が著しいもの、乳房の体への附着が狭く不揃いなど難点のあるものを多く見受けましたことは残念に存じます。

なお今回は体格の審査に併行して泌乳能力検定を行ないましたが、その能力の平均は分娩後日数 200

岡山畜産便り 1961. 11・12

余日を経過しておるのに拘らず、泌乳量は1日約2.6kgと極めてよい成績でありましたが、個体的に泌量の極めて少ないものがあつたことは遺憾であります。

今回出品の山羊から察しますと、各県共に平均して体格が揃い、品位資質並びに泌乳能力も概ね向上してきたことが認められますが、更に乳用種畜としての品位と資質並びに乳房の形質一段と改良すべく、登録の励行と後代検定による選定、特に種雄山羊の早期検定の実施と、これが効率的な利用を計ると共に、育成、管理技術の一段の改善に努められるよう希望致します。

第5部 種 豚

全般に体型、資質がよく揃い、前回にみられた繋の弱いもの、乳頭の質の不良のものなどが影をひそめ、被毛皮膚もよく、又飼養管理技術が著しく向上し、優劣の差が極めて少なく、前回までの出品に比して格段の向上進歩の跡が窺われますことは、関係者各位の御努力の賜でありまして、誠に喜ばしいことでございます。

しかしながら、未だ特に傑出したものが見当らず、やや過肥のもの、体の緊りの欠けるもの、後軀の幅と腿の張りの乏しいもの、中軀の伸びの足りないもの、頬、頸の重いものが見受けられ、その他種付時期がやや早や過ぎるもの、又は遅きに過ぎるものなどが認められました。(個体概評略) 今後は特に優秀な種雄豚の確保に努め、適切な交配を行なうと共に、飼養管理に更に一段の工夫を加えられますよう切望します。

なお次回には経産豚並びに種雄豚をぜひとも出品されることを望みます。

★ 審 査 委 員 ★

審査委員長 農林省鳥取種畜牧場長
荻野周次

副委員長 全国和牛登録協会 専務理事 農博
石原盛衛

第1部 和種種牛

農林省鳥取種畜牧場長 農林技官
荻野周次
京都大学農学部教授 農学博士
上坂章次

農林省畜産局家畜改良課 課長補佐農林技官

大川忠男

農林省中国農業試験場 畜産部長農学博士

熊崎一雄

全国和牛登録協会 技師

村尾賢蔵

農林省中国農業試験場 農林技官

吉田正三郎

農林省中国農業試験場 農林技官

吉田武紀

農林省鳥取種畜牧場 農林技官

福本精

農林省畜産局家畜改良課 農林技官

豊田晋

全国和牛登録協会 技師

本庄巍

第2部 乳用種種牛

農林省新冠種畜牧場場長 農林技官

牧野敏夫

日本ホルスタイン登録協会 技師農学博士

榭田精一

農林省畜産局家畜改良課 農林技官

大久保瑛

農林省畜産局家畜改良課 農林技官

大福静雄

第3部 肉牛

全国和牛登録協会専務理事 農学博士

石原盛衛

農林省中国農業試験場 農林技官

土屋平四郎

全国和牛登録協会 技師

西田孝雄

農林省畜産局経済課 農林技官

田口博信

第4部 種めん羊

農林省高知種畜牧場 農林技官

赤峯正泰

農林省中国種畜牧場 農林技官

寺本憲太

第5部 種山羊

農林省兵庫種畜牧場場長 農林技官

藤岡勝次

農林省中国種畜牧場 農林技官

松本正吉

第6部 種豚

日本種豚登録協会 副会長

北本弥三郎

日本種豚登録会 技師

牧田専治

農林省中国種畜牧場 農林技官

生駒博雄

岡山畜産便り 1961. 11・12

中国地方畜産大会要望事項

(日時 10月22日 場所第18回中国連合畜産共進会場)

1、畜産の拡大専門化に対応した畜産団体の組織強化について(京都ほか5県畜連)

2、畜産物の価格安定対策と家畜及び畜産物取引改善の施策実現について(岡山ほか5県畜連)

3、流通飼料の供給と価格の安定対策について(鳥取ほか4県畜連)

4、畜産に対する長期低利資金の融資及び利子補給について(兵庫ほか1県畜連)

5、和牛振興対策について(広島ほか1県畜連、中国和牛協会)

6、家畜共済病傷部分掛金の2分の1国庫負担について(兵庫ほか1県農業共済連)

7、畜産行政の一体化について(京都ほか1県畜連)

8、養鶏振興対策について(広島県養鶏協会)

9、全国総合畜産共進会の開催方実施について(中国地方各畜産会)